

下小ブルーの風に乗って！

【令和4年12月15日 第9号 香芝市立下田小学校 校長室発行】



創立記念日に思いを寄せて

今月の二上山



冬空にも映える
錦秋色です。

12月1日は、下田小学校の創立記念日です。11月30日の終わりの会でお話したことを思い出してください。1874(明治7)年6月16日、下田村・狐井村・五ヶ所村を校区として、真宗寺に誠弘館という学ぶ場所ができました。同じ年の8月25日、逢坂村・北今市村を校区として、逢坂村西念寺に健業舎という学ぶ場所ができました。これが、下田小学校の始まりです。

この2つが、1886(明治19)年11月、小学校令の改正に伴って1つになり、下田尋常小学校になりました。12月1日が創立記念日になった理由は、1892(明治25)年12月1日に、分校を合併して1つにした校舎に移った日だからです。【下田小学校百年史より】今年で148歳になる下田小学校は、長い歴史と伝統のある学校です。だから、たくさんの卒業生がいます。今、下田小学校で学ぶみなさんは、この歴史と伝統を受け継ぎながら、新しい文化を作る担い手となります。自分たちの生きてきた証を刻みながら、よりよい下田小学校にするために力を合わせましょ

校内音楽会



6年生の演奏



5年生の演奏

11月17日(木)、校内音楽会を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じるため、体育館には全校児童の半数という入場制限を設けました。だから、演奏は2回ずつ行いました。

5年生は、「Believe」を演奏しました。6年生は、「いのちのうた」と「地球星歌」を演奏しました。どちらも、校内音楽会のテーマである「ハーモニー」がとてもよく表現できていました。

でも、さすがですね、6年生の演奏は、私の心に響くとてもステキなものでした。

芸術鑑賞会



11月22日(火)、芸術鑑賞会をしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じるため3部講演にして、体育館では2学年ずつ鑑賞しました。

オープニングから、ピアノの魔術師のみなさんは、子どもたちが学校で使っているピアノで、ステキな演奏を始めました。タンギングやビブラートをきかす技やマリオのゲーム音など、聞いたことのない音色に驚いたのは、私だけではないはず。また、どのようにすれば、こんなステキな音が出るのかを紹介していただきました。【A】そして、ピアノだけでなく、カスタネットの魔術師も登場しました。【B】また、小学生にもなじみのある、クラシックやタンゴやジャズなど、世界の国々の名曲を演奏してくださいました。【C】最後は、子どもたちが魔術師たちの演奏に合わせて、ダンスで自分の気持ちを表現しました。【D】芸術がもっている力の中には、「心がウキウキする力」「みんなが1つになれる力」「戦争を止める力」があります。そこで、ジャマイカの戦争を止めた曲を演奏してくださいました。

ピアノの魔術師のみなさん、ステキな演奏会をありがとうございました。

マラソン大会

6年生



A



スタート直後の様子

ゴール前の登り坂



11月25日(金)は絶好のマラソン日和となりました。11月から始めました「かけあし練習」には、私も子どもたちと一緒に走りました。私は、走ることが苦手なので、1周目は5・6年生と、2週目は3・4年生と、3周目からは1・2年生と走ること、何とか6日間、練習に参加できました。

写真は、大会当日の様子です。学年ごとにスタートします。スタート後は、運動場のトラックを2周走ります。1週目はペースメーカーの先生に合わせて走り【A】、2週目は各自のペースを作って走ります。コロナのために、1～3年生は初めてのマラソン大会となりました。でも、どの学年の子どもたちも、「かけあし練習」で積み上げた「自分のペース」で一生懸命に走っていました。ゴール前の登り坂は、とてもきつかったと思いますが、よく頑張ったと思います。

そして、PTA役員の皆様には、子どもたちの安全対策として、街頭指導にご協力をいただきました。ありがとうございました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生

奈良県小学生陸上競技記録会



競技終了後の集合写真



走り高跳び



走り幅跳び



200m走

11月12日(土)、奈良県小学生陸上競技記録会が開催されました。コロナのため3年ぶりの開催で、種目数も制限され、出場選手、大会役員及び引率職員のみでの参加となりました。

本校からは、22名の選手が走り高跳び、走り幅跳び、100m、200mに参加しました。どの学校の選手も参加する喜びに満ち溢れた表情で、競技に臨んでいました。来年は、もっとたくさんの児童が出場し、観覧席いっぱいの人々から応援を受けて、競技できるようになることを祈っています。

香芝市「人権の花」



11月17日(木)、香芝市人権擁護委員の方が「人権の花」を持ってお越しになりました。毎年行われているもので、児童会と栽培委員会の子供たちが、「人権の花」をプランターに植えました。そのあと、人権擁護委員の方からお話を伺い、記念写真を撮りました。この取組を通して、人権について考えるとともに、一人一人の人権が大切にされていることを確かめる機会となることを願っています。

おもちゃランド



11月29日(火)、おもちゃランドを行いました。これは、2年生が、手作りのおもちゃで、1年生を招待し、一緒に遊ぶ、というものです。コロナ対策として、1クラスずつの開催となりました。

オープニングセレモニーでは、2年生の代表が歓迎の挨拶をしました。全部で6つのブースを作って遊びました。1年生も2年生も楽しそうに遊んでいる姿が、なんともほほえましい光景でした。



ありがとう集会



12月7日(水)、日頃お世話になっている方々に「感謝」の気持ちを込めて「ありがとう

集会」を行いました。今回は、給食調理員の皆様と図書ボランティアの皆様です。

毎日食べる給食のお世話をしていただき、おいしく給食が食べられること、図書室の本が傷んだ時に修理してくれたり蔵書の整理整頓をして読書活動を支えていただいていること、これらのごに対してボランティア委員会の子どもたちが、全校児童の代表として「感謝」の気持ちを込めてメッセージを送りました。

全校朝会のお話し【12月6日】

みなさん、おはようございます。

11月25日金曜日に行いました校内マラソン大会では、みなさんがとてもよく頑張っている姿を見ることができました。また、11月12日土曜日に開かれました「奈良県小学生陸上競技記録会」では、下田小学校から出場した5年生6年生のみなさんが、学校での練習を含めて、大会当日も、とてもよく頑張っている姿を見ることができました。中には、とてもよい記録を残した人もありました。校長先生は、どちらも、とてもうれしかったです。なお、この陸上記録会の練習では、昨年、下田小学校でお仕事をされていました大前先生もご指導をいただきました。そして、その大前先生が育てた選手である木村慎太郎(きむら しんたろう)さんにもご指導をいただきました。木村慎太郎さんは、100m走の奈良県記録をもっている人です。練習では、早く走るための技やポイントや練習方法を教えていただきました。子どもたちは、目をキラキラと輝かせて練習していたのを覚えています。

そこで、今日は、『強い気持ち』(「希望・勇気・強い意志」)について、お話します。

『強い気持ち』とは、一人一人が自分の夢や希望や目標を叶えるために、最後まであきらめなくて、粘り強く努力しようとする心のことです。

1・2年生のみなさんは、好き嫌いでがんばるのではなく、自分がやらなければならないことは最後までがんばって やりとげようという気持ちを育ててください。

3・4年生のみなさんは、一歩進めて考えましょう。与えられた役割だけでなく、自分でやると決めたことは、あきらめずに最後まで がんばろうという気持ちを育ててください。

5・6年生のみなさんは、さらに 一歩 進めます。みなさんは、スポーツの選手や将棋や囲碁や音楽などの分野で、みなさんと同じくらいの年ごろの子どもたちが活躍している姿を観ることがありますね。彼女・彼らのインタビューの中にも「強い気持ちでがんばりました。」というコメントがあります。

では、この「強い気持ち」をもち続けるためには、何が必要なのか?あきらめずにがんばり続けるためには、何が必要なのか?考えてください。